

京都府立医科大学附属病院で救急診療を受けられた患者様・ご家族の皆様へ

外傷（けが）に関する調査へのご協力をお願い

今回、京都府立医科大学は、外傷（けが）に関する研究「日本外傷データバンクへの救急外来受診患者情報の登録及び活用」を実施いたします。そのため、過去に京都府立医科大学附属病院で外傷診療を受けられた患者様の診療録を過去にさかのぼって調査させていただきたいと考えています。

研究の目的

PTD（Preventable Trauma Death）と呼ばれる、標準的な外傷（けが）診療を行っていれば防ぎえた死、をなくすことは外傷診療の大きな柱の一つです。これを達成するために日本を含む世界中で外傷患者の大規模なレジストリ（研究）の構築と、その知見に基づいた外傷診療標準コースの普及が行われ、診療の向上に寄与しています。本学もそのレジストリに参加し、外傷診療の質向上に寄与することを目的とします。

研究の方法

・対象となる患者様について

2014年4月1日～ 2020年3月31日 の間に京都府立医科大学附属病院救急外来で外傷診療を受けられた患者様が対象となります。

・方法について

対象となる外傷診療を受けられた患者様のカルテを調べ、その診察内容（受診日時、診断名、治療、入院の有無など）を調査させていただき、日本外傷データバンクへ登録します。集積されたデータを分析することによって、有効な治療法やシステム構築など外傷診療の質向上を目指します。外傷データバンクとは日本全国244施設（2015年3月時点）が参加する外傷診療を向上するための日本全体で行っている大規模レジストリです。

(<https://www.jtcr-jatec.org/traumabank/dataroom/dataroom.htm>)

・資料の管理について

情報はすべて匿名化され、個人が特定されることはありません。また、研究発表が公表される場合でも個人が特定されることはありません。

ご希望があれば、個人情報の保護及び本研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、研究計画及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧することが可能です。ご自分、あるいはご家族の情報を本研究に登録したくない場合は、けがの診療を受けられた年の年度末（3月31日）までに下記連絡先

までご連絡ください。なお上記までに申し出がなかった場合には、参加を了承していただいたものとさせていただきます。

本研究は、京都府立医科大学医学倫理審査委員会において、適切な研究であると承認されています。この研究計画についてご質問がある場合は下記までご連絡ください。

連絡先 京都府立医科大学 救急医療学教室

職・氏名 大学院生・松山 匡 電話：075-251-5393

研究責任者 京都府立医科大学 救急医療学教室 教授 太田 凡